

工業会活動

平成27年度 航空機生産・輸出・受注額(改訂)見通し

(一社)日本機械工業連合会が実施する「平成27年度機械工業生産額(改訂)見通し調査」に関する調査依頼を受け、当工業会は会員企業24社の協力を得て「航空機生産・輸出・受注額見通し」の調査を実施した。

21年度に1兆円を下回った生産額は、緩やかに回復した後に24年度以降急速に拡大し、26年度は1.6兆円、27年度は1.7兆円を上回ることが、今回の調査で確認された。その要因として、26年度はBoeing787等の民間機向けの生産増を背景とした「機体部品」「エンジン部品」の増、27年度はP-1哨戒機等の「機体本体」及び民間機向け「エンジン部品」の増が挙げられる。

また、21年度に大幅に落ち込んだ受注額は、23年度以降、急速に拡大し、1兆円を大きく上回る状況が続いている。その要因は、26年度がBoeing787等民間機向け「機体部品」の増によるもので、27年度もP-1哨戒機等の「機体本体」及び民間機向け「エンジン部品」の増等による。このように受注が好調に推移していることから、今後の航空機生産は堅調に推移すると見込まれる。

調査結果の概要について、以下に記す。

1. 生産額

(1) 全般

◇「26年度実績額」は1兆6,404億円で前年比1,727億円(11.7%)の増となった。

◇「27年度見通し額」は1兆7,675億円で前年比1,271億円(7.7%)増の見通し。

(2) 内訳

①機体関連

◇26年度は、「機体本体」は防衛省向けF-35戦闘機の増等により78億円増の2,325億円、「機体用部品」がBoeing向け787用部品の増等により1,455億円増の7,917億円で、「機体合計」では、1,533億円増の1兆

242億円となった。

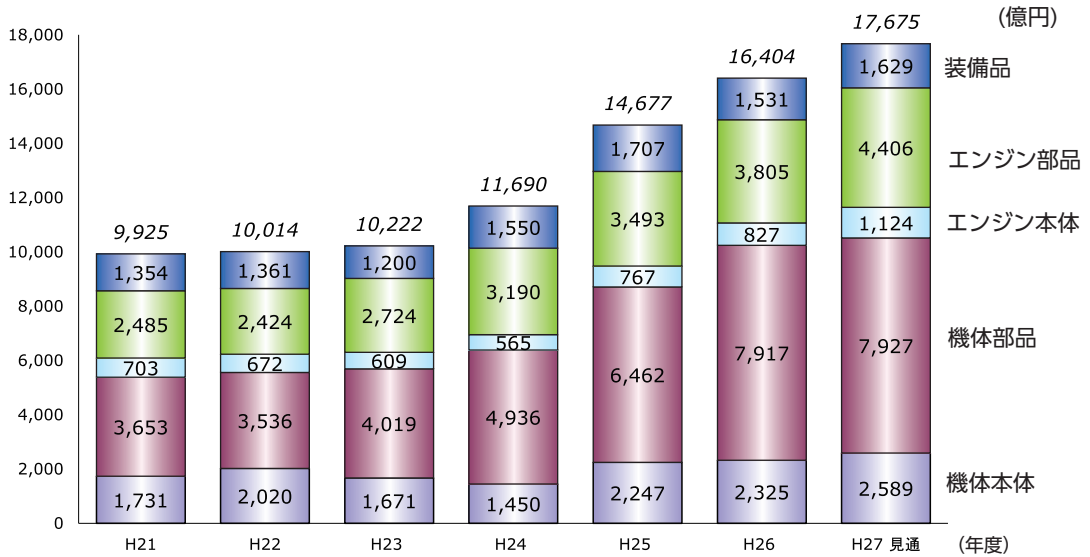
◇27年度は、「機体本体」は防衛省向けP-1哨戒機の増等により264億円増の2,589億円、「機体用部品」は26年度とほぼ同じレベルの7,927億円で、「機体合計」では、274億円増の1兆516億円の見通しである。

②エンジン関連

◇26年度は、「エンジン本体」は海外向けエンジン修理の増等により60億円増の827億円、「エンジン用部品」が海外向け部品の増により312億円増の3,805億円で、「エンジン合計」では、371億円増の4,632億円となった。

◇27年度は、「エンジン本体」は防衛省向

生産額の長期推移



生産額の長期推移

(単位：億円)

区分 \ 年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27見通
機体本体	1,731	2,020	1,671	1,450	2,247	2,325	2,589
機体部品	3,653	3,536	4,019	4,936	6,462	7,917	7,927
(小計)	(5,384)	(5,556)	(5,690)	(6,386)	(8,709)	(10,242)	(10,516)
エンジン本体	703	672	609	565	767	827	1,124
エンジン部品	2,485	2,424	2,724	3,190	3,493	3,805	4,406
(小計)	(3,188)	(3,096)	(3,332)	(3,754)	(4,261)	(4,632)	(5,530)
装備品	1,354	1,361	1,200	1,550	1,707	1,531	1,629
計	9,925	10,014	10,222	11,690	14,677	16,404	17,675

(注) 四捨五入の関係から、合計は必ずしも一致しない。

けエンジンの増等により297億円増の1,124億円、「エンジン用部品」が海外向け部品の増等により601億円増の4,406億円で、「エンジン合計」では、898億円増の5,530億円の見通しである。

③ 装備品

◇26年度は、防衛省向けF-15近代化改修用レーダーの減等により、176億円減の1,531億円となった。

◇27年度は、民間機向け内装品の増等により98億円増の1,629億円の見通しである。

2. 輸出額

(1) 全般

◇「26年度実績額」は1兆586億円で前年比1,765億円(20.0%)の増となった。

◇「27年度見通し額」は1兆1,467億円で前年比881億円(8.3%)増の見通し。

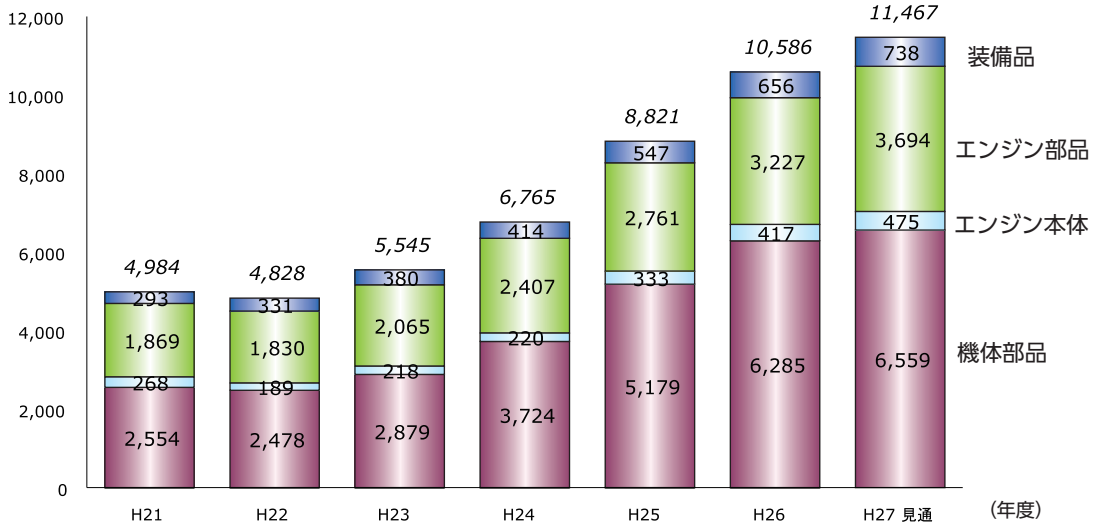
(2) 内訳

① 機体関連 (機体用部品のみ)

◇26年度は、Boeing向け787用部品の増等により1,106億円増の6,285億円となった。

輸出額の長期推移

(億円)



輸出額の長期推移

(単位：億円)

区分	年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27見通
機体本体		0	0	3	0	1	0	0
機体部品		2,554	2,478	2,879	3,724	5,179	6,285	6,559
(小計)		(2,554)	(2,478)	(2,882)	(3,724)	(5,180)	(6,285)	(6,559)
エンジン本体		268	189	218	220	333	417	475
エンジン部品		1,869	1,830	2,065	2,407	2,761	3,227	3,694
(小計)		(2,137)	(2,019)	(2,283)	(2,628)	(3,094)	(3,645)	(4,169)
装備品		293	331	380	414	547	656	738
計		4,984	4,828	5,545	6,765	8,821	10,586	11,467

(注) 四捨五入の関係から、合計は必ずしも一致しない。

◇27年度は、Boeing向け787用部品の増等により274億円増の6,559億円の見通しである。

②エンジン関連

◇26年度は、「エンジン本体」は海外向け修理の増により84億円増の417億円、「エンジン用部品」が海外向け部品の増により466億円増の3,227億円で、「エンジン合計」では、551億円増の3,645億円となった。

◇27年度は、「エンジン本体」は海外向け修理の増により58億円増の475億円、「エ

ンジン用部品」が海外向け部品の増により467億円増の3,694億円で、「エンジン合計」では、524億円増の4,169億円の見通しである。

③装備品

◇26年度は、民間機向け内装品の増により109億円増の656億円となった。

◇27年度は、民間機向け内装品の増により82億円増の738億円の見通しである。

3. 受注額

(1) 全般

- ◇「26年度実績額」は1兆6,850億円で前年比1,533億円（10.0%）の増となった。
- ◇「27年度見通し額」は1兆8,882億円で前年比2,032億円（12.1%）増の見通し。

(2) 内訳

①機体関連

- ◇26年度は、「機体本体」はF-35戦闘機の減等により675億円減の2,331億円、「機体用

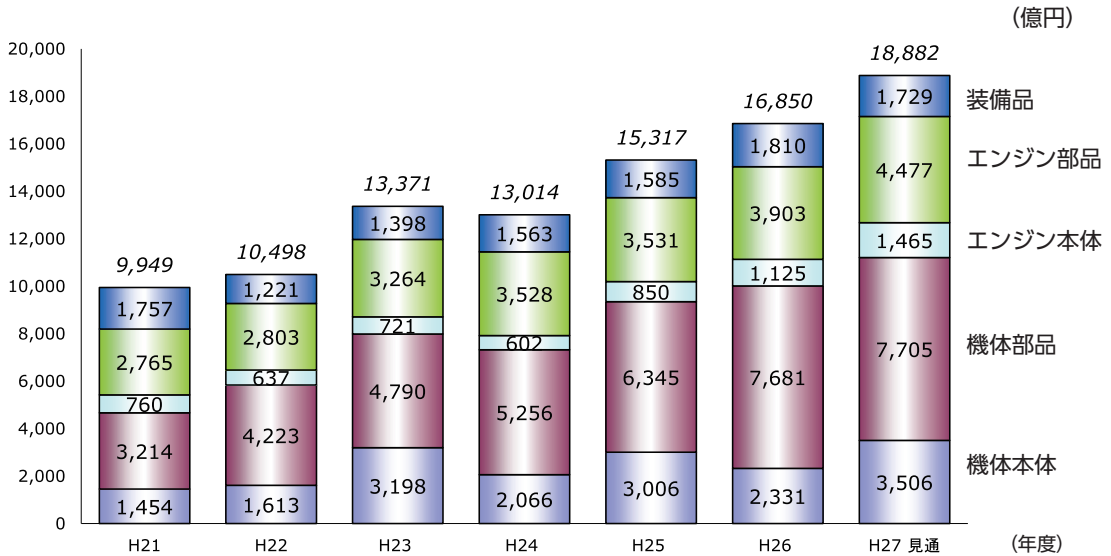
部品」がBoeing向け787用部品の増等により1,336億円増の7,681億円で、「機体合計」では、661億円増の1兆12億円となった。

- ◇27年度は、「機体本体」はP-1哨戒機の増等により1,175億円増の3,506億円、「機体用部品」が26年度とほぼ同じレベルの7,705億円で、「機体合計」では、1,198億円増の1兆1,210億円の見通しである。

②エンジン関連

- ◇26年度は、「エンジン本体」は海外向け修理の増等により275億円増の1,125億円、

受注額の長期推移



受注額の長期推移

(単位：億円)

区分	年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27 見通
機体本体		1,454	1,613	3,198	2,066	3,006	2,331	3,506
機体部品		3,214	4,223	4,790	5,256	6,345	7,681	7,705
(小計)		(4,668)	(5,837)	(7,988)	(7,321)	(9,351)	(10,012)	(11,210)
エンジン本体		760	637	721	602	850	1,125	1,465
エンジン部品		2,765	2,803	3,264	3,528	3,531	3,903	4,477
(小計)		(3,525)	(3,440)	(3,985)	(4,130)	(4,381)	(5,028)	(5,942)
装備品		1,757	1,221	1,398	1,563	1,585	1,810	1,729
計		9,949	10,498	13,371	13,014	15,317	16,850	18,882

(注) 四捨五入の関係から、合計は必ずしも一致しない。

「エンジン用部品」が海外向け部品の増等により372億円増の3,903億円で、「エンジン合計」では、647億円増の5,028億円となった。

◇27年度は、「エンジン本体」はP-1哨戒機用エンジンの増等により340億円増の1,465億円、「エンジン用部品」が海外向け部品の増等により574億円増の4,477億円で、「エンジン合計」では、914億円増の5,942億円の見通しである。

③装備品

◇26年度は、民間機向け内装品の増等により225億円増の1,810億円となった。

◇27年度は、民間機向け内装品の減等により81億円減の1,729億円の見通しである。

<調査対象企業：24社>

I H I、KYB、川崎重工業、小糸製作所、島津製作所、ジャムコ、昭和飛行機工業、シンフォニアテクノロジー、新明和工業、住友精密工業、東京計器、東京航空計器、東芝、ナブテスコ、日本航空電子工業、日本電気、日本飛行機、富士重工業、三菱重工業、三菱電機、三菱プレシジョン、横河電機、横河電子機器、横浜ゴム

〔(一社)日本航空宇宙工業会 業務部長 杉原 康二〕